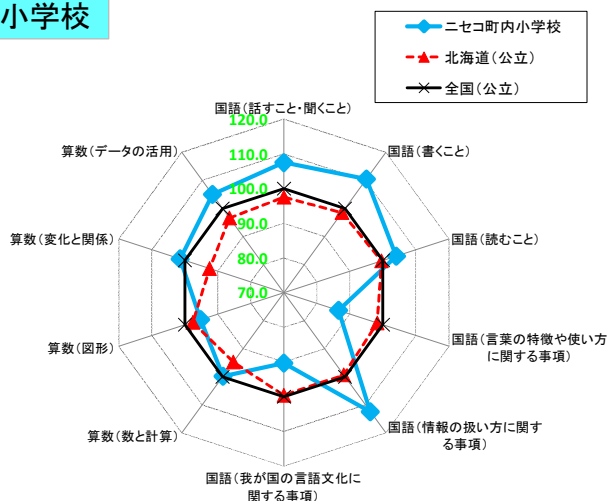


■ニセコ町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:43人）（中学校数:1校、生徒数:40人）

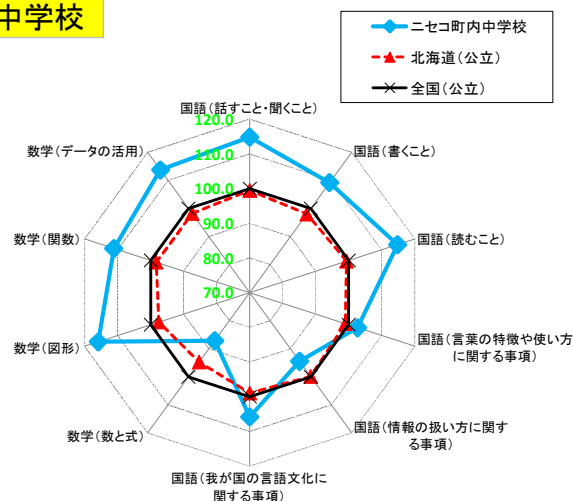
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

小学校



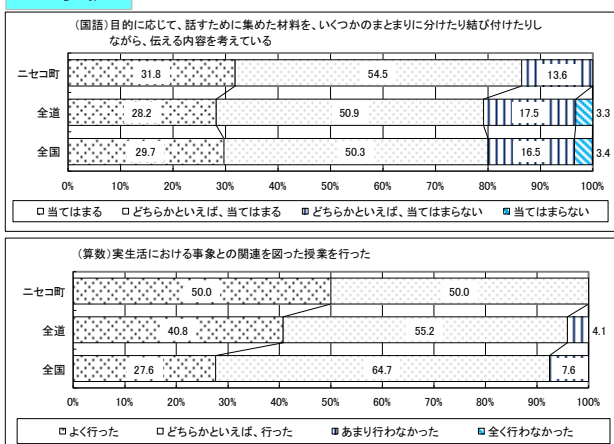
中学校



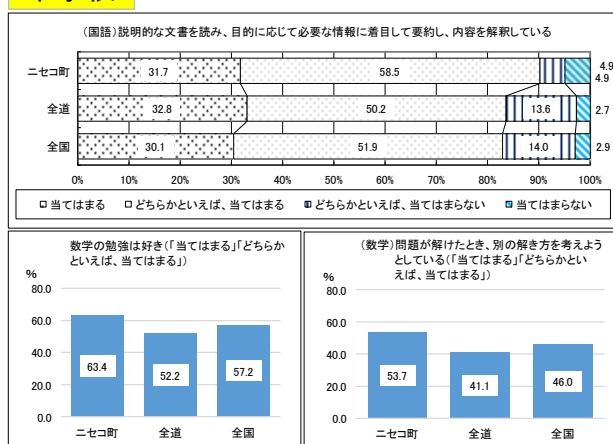
平均正答率	小学校	中学校
国語	68	63
算数・数学	64	55

【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の授業において、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考える活動を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の全ての領域、「情報の扱い方に
関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

算数の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、授業改善が図られ、算数の「変化と関係」「データの活用」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の授業において、説明的な文書を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する活動を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の全ての領域、「言葉の特徴や使い方に
関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学の授業において、問題が解けたとき、別の解き方を考えようとする指導を行ったことにより、学習内容の定着が図られ、数学は好きと肯定的に回答する生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の「図形」「関数」「データの活用」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ 幼小中高の連携強化や学習規律の統一など「ニセコスタイルの教育」の推進
- ◎ ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開
- ◎ 外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成

【Webページ】



（R6.11掲載予定）